菅義偉 内閣総理大臣　  
梶山弘志　経済産業大臣　  
小泉進次郎　環境大臣  
河野太郎　行政改革担当大臣

CC: 総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会　白石隆　分科会長・委員各位  
CC: 中央環境審議会地球環境部会　三村信男　部会長・委員各位

**化石燃料も原発も使わない、持続可能な再エネ１００％の**

**気候・エネルギー政策を求めます**

気候危機はすでに現実化しています。国際条約「パリ協定」では、世界の平均気温上昇を産業革命前に比べて1.5℃に抑える目標が定められています。科学者たちは、1.5℃以上の場合、気候災害がさらに深刻化し、悲劇的な生態系の崩壊が起こると警告しています。

政府は現在、「エネルギー基本計画」と「地球温暖化対策計画」を見直しています。菅首相は、2050年までに温室効果ガスを実質排出ゼロにすると宣言しましたが、そのための具体策となる2つの計画は、1.5℃目標に沿うように再エネ100%とする必要があります。

　また、2021年には東京電力福島第一原発事故から10年を迎えますが、事故の被害はいまだに続いています。核廃棄物の最終処分についても全く見通しが立っていません。原発や不確実な技術に頼らず、先進国の責任として脱炭素社会に向けて経済・産業構造やくらしを抜本的に変えることが必要です。

これからの世代に希望ある社会を残すために、私たちは、以下を要望します。

**要望事項**

**１．気候・エネルギー政策の見直しは、若い世代を参加させ民主的で透明なプロセスで行うこと。**

**２．2030年までの温室効果ガス排出削減目標は、2010年比で少なくとも50％以上削減とすること。**

**３．2030年の電源構成は、省エネを第一に石炭火力と原発はゼロ、再エネ50%以上とすること。**

**４．原子力の利用をやめ、新増設や新型炉の開発は中止すること。**

**５．不確実で環境・社会影響が懸念される二酸化炭素回収・貯留などには頼らないこと。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 都道府県 | 住所 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

「あと4年、未来を守れるのは今」キャンペーン　　http://ato4nen.com/

呼びかけ団体： 350.org Japan、CAN-Japan、eシフト、Fridays For Future Fukuoka、Fridays For Future Kagoshima、Fridays For Future Kyoto、Fridays For Future Nasu、Fridays For Future Osaka、Fridays For Future Shizuoka、  
Fridays For Future Yokosuka、Green TEA、Protect Our Winters Japan、PV-Net、Spiral Club、  
環境エネルギー政策研究所、気候ネットワーク、グリーン連合、原子力資料情報室、原水禁、国際環境NGO FoE Japan 、国際環境NGOグリーンピース・ジャパン、市民電力連絡会、ピースボート（数字、アルファベット、50音順、12月21日時点）

署名締め切り：　第一次集約：2021年1月31日、第二次集約：3月15日（予定）、最終集約：状況に応じて

送付先： 350.org Japan 〒153-0064東京都目黒区下目黒4-15-3 問合せ：03-6909-5983（FoE Japan）

|  |
| --- |
| （取り扱い団体） |